

梅毒って何だろう？

ばいどく 患者急増中の感染症から健康を守るために

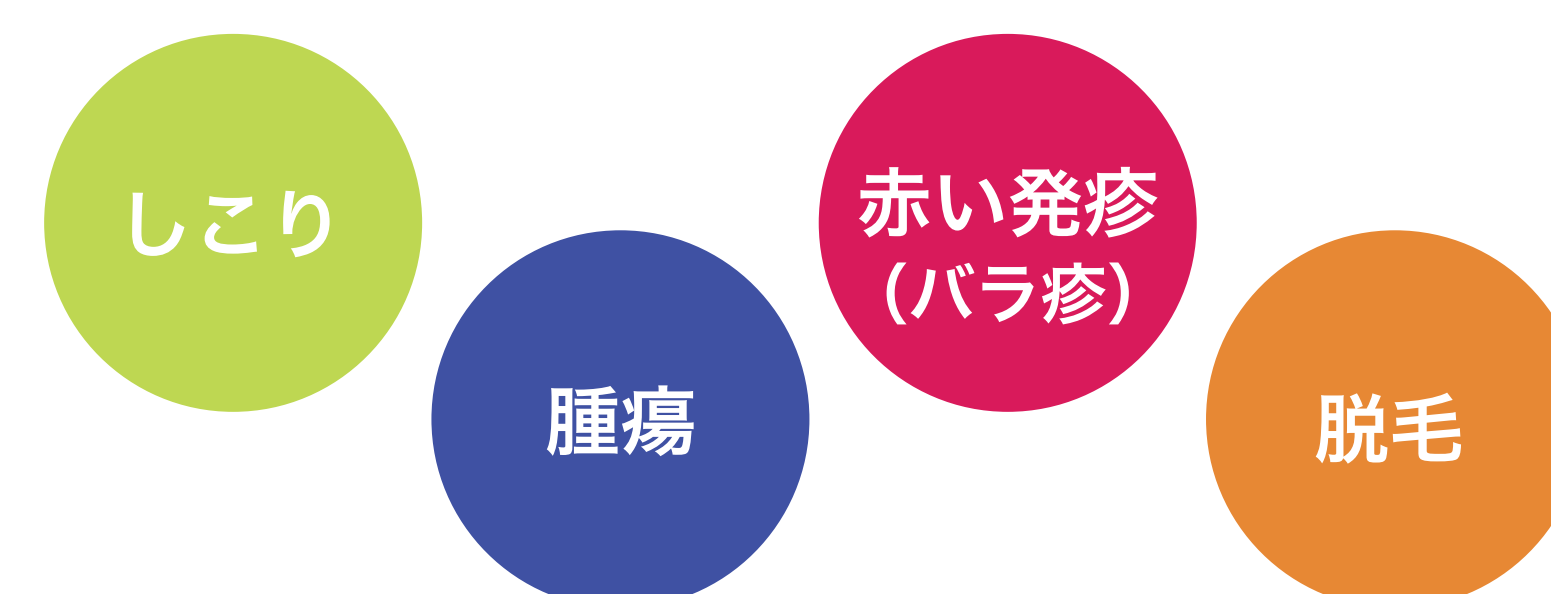
梅毒とは？

梅毒とは、トレポネーマパリダム (*Treponema pallidum*) という菌によって引き起こされる感染症です。

感染すると、3～6 週間程度の潜伏期間を経て、皮膚や性器、頭部 (脱毛) など、全身にさまざまな症状が現れます。ただし、感染しても無症状の人も多く、梅毒と診断された人の 20～40% は無症状です。気になる症状がある人はもちろん、症状がなくても定期的な検査を考えましょう。

皮膚・性器・頭部など全身に現れる

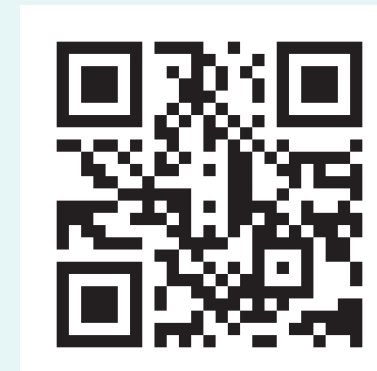
さまざまな症状



CHECK !

検査相談マップ

梅毒と HIV の検査・相談ができる場所を探せます。
下記の情報サイトをご覧ください。



HIV 検査相談マップ

HIV 検査と他の性感染症検査の普及のため、厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究」(研究代表者：今村顕史)

どのように感染するの？

POINT

大切なのは
予防すること

主に性行為により感染します。その他に母子感染や、まれですが血流感染があります。HIV、淋菌、クラミジアなど他の性感染症も性行為により感染します。梅毒と一緒に検査することを検討しましょう。

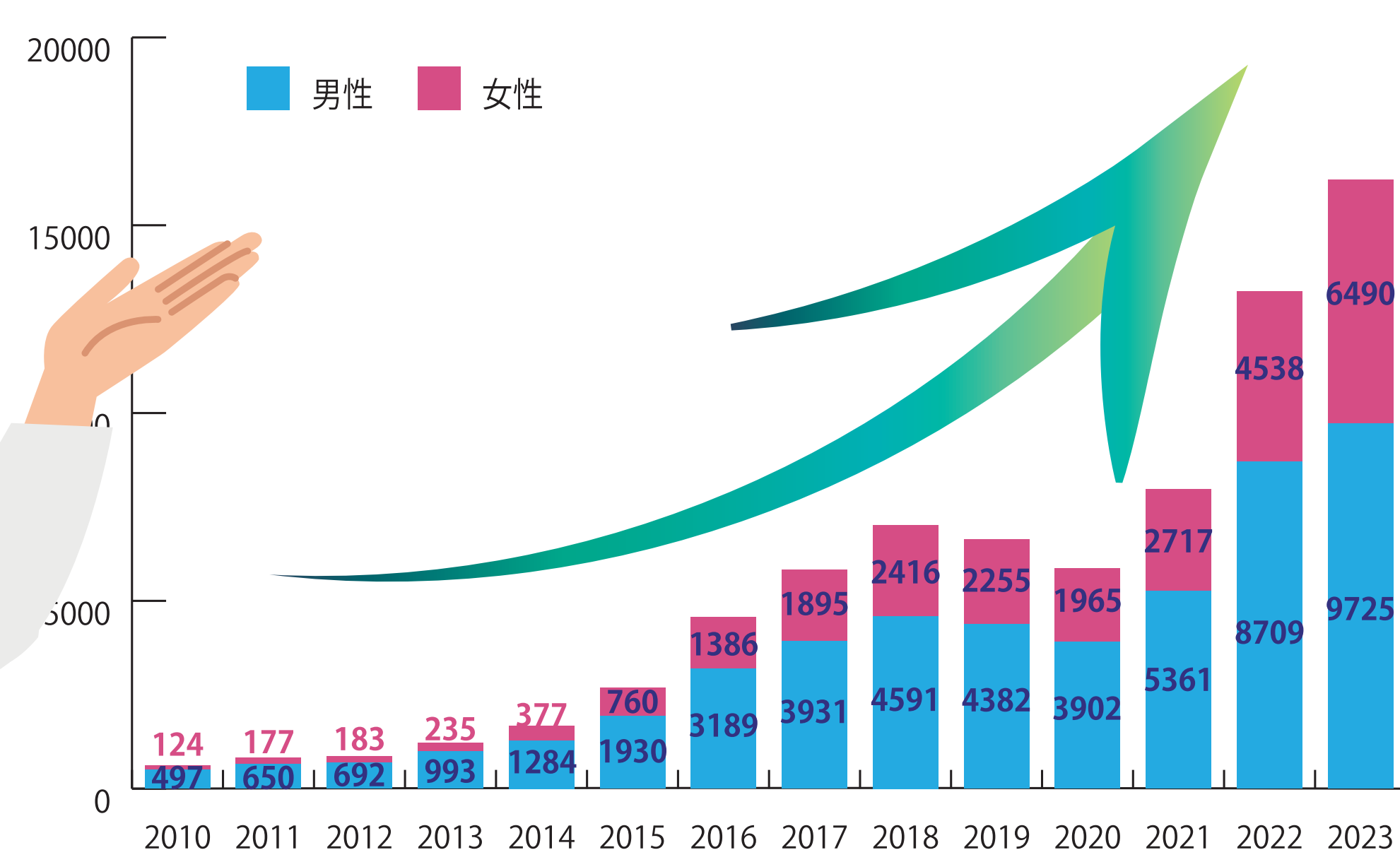
予防が重要です。コンドームは性行為による梅毒感染のリスクを下げます。ただし、コンドームのみで完全に予防できるわけではありません。海外では梅毒やクラミジア予防のため「ドキシサイクリン」という薬による性行為後の暴露後予防が注目されています。関心のある方は専門家に相談しましょう。

梅毒が流行しているって本当ですか？

はい、本当です。

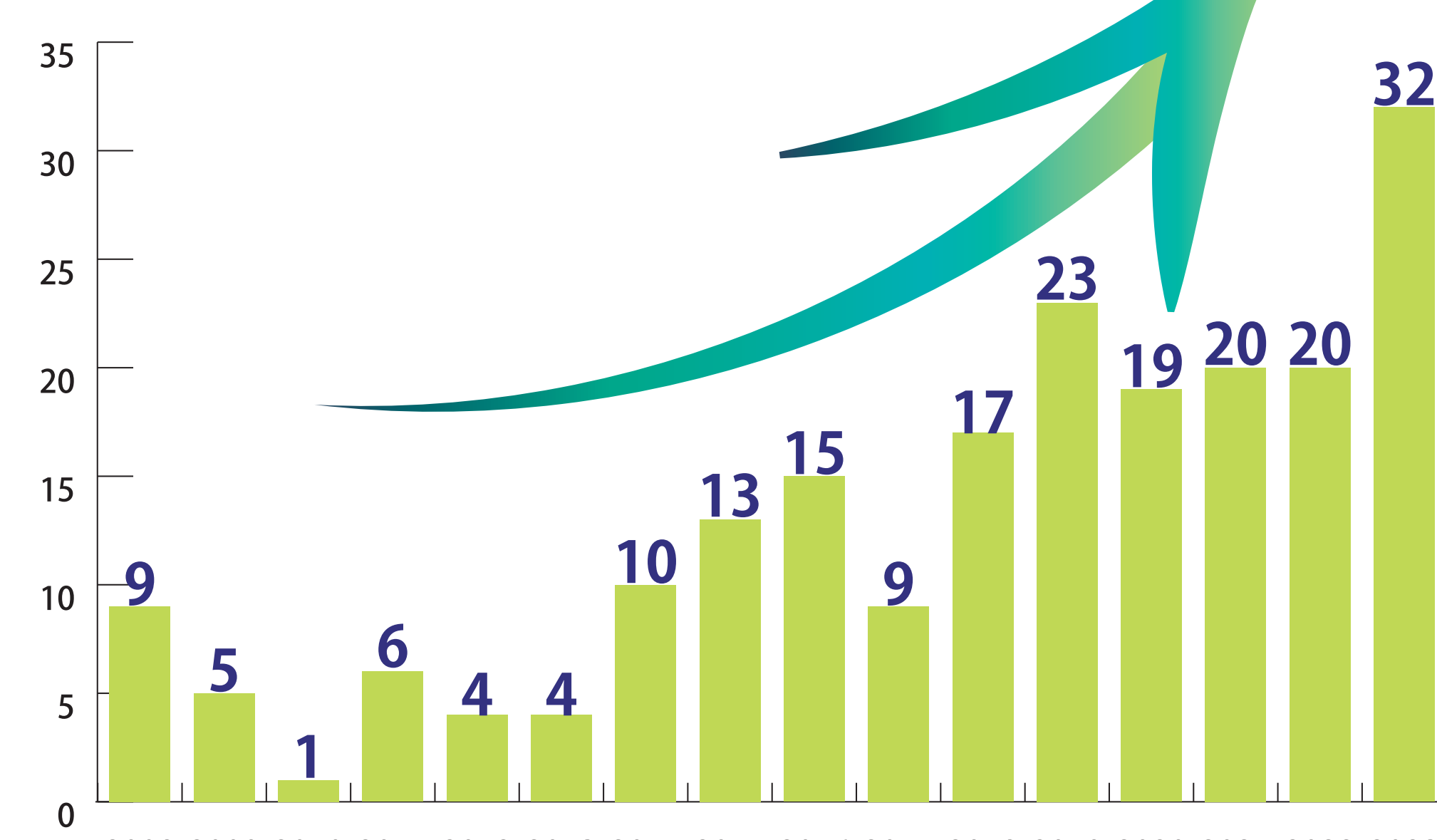
感染症発生動向調査によると 2010 年ころから発生件数が増加していて、特に 2015 年ごろからは急増しているため注意が必要です。2021 年以降は特に女性の報告件数や妊娠症例数が増加しています。この増加は、治療していない母体から胎児に感染する先天性梅毒の増加につながっています。この連鎖を止めるために早期診断、早期治療が重要です。

梅毒件数



出典：感染症発生動向調査より

先天性梅毒件数



(感染症発生動向調査：2023 年 10 月 4 日時点) *2022 年以降は暫定値

出典：感染症発生動向調査より

治りますか？

はい、適切な治療で治ります。

内服薬だけでなく、2022 年から筋肉注射製剤も使えるようになり、治療の選択肢が増えています。どの治療が良いかは、医師に相談してください。

梅毒は、治療後も再感染をすることがあります。必要に応じて、くりかえし検査をしましょう。

梅毒と診断された場合、パートナーも検査、治療が必要になります。